

結節性硬化症に伴う腎血管筋脂肪腫 診療ガイドライン2023年度版に 関する研究

研究分担者 波多野 孝史 慈恵医大 泌尿器科

研究要旨

日本泌尿器科学会および日本結節性硬化症学会と連携し、結節性硬化症に伴う腎血管筋脂肪腫 診療ガイドライン2023年度版を作成、発刊すること。

A. 研究目的

結節性硬化症（TSC）随伴病変の出現には年齢依存性があり、加えて個々の患者ごとに病変の組み合わせや症状の重症度は大きく異なる。従ってTSC患者の多くは各年齢層において、その時点で発現している症状や病巣に応じて複数の医療機関および複数の診療科を受診しなければならない。そのため患者は全身状態の包括的な評価が十分に把握されないまま、不定期、非効率に検査を受け、規則的なサーベイランスが行われていない。

このような現状を鑑み、日本結節性硬化症学会および日本泌尿器科学会と連携し、TSCに伴う腎血管筋脂肪腫（AML）診療ガイドライン改訂版を作成する。

B. 研究方法

TSCに伴う腎血管筋脂肪腫（AML）診療ガイドライン初版は2016年に発刊された。その後6年経過し、TSC-AMLの治療に関する新たなエビデンスが蓄積されたため、今回診療ガイドライン改訂版の作成を企画した。

本ガイドラインはMinds「診療ガイドライン作成の手引き」（2020年版）に準拠して作成された。内容は総論4項目、バックグラウンドクエスチョン4項目、クリニカルクエスチョン3項目、フューチャークエスチョン3項目で構成されている。クリニカルクエスチョンについてはエビデンス収集を行い、文献レビューによるサマリを作成した。

（倫理面への配慮）

本研究は診療ガイドラインの作成に関する研究である。本研究はヒトを対象とする臨床研究ではないため、倫理委員会に諮る必要のない研究である。

C. 研究結果

結節性硬化症に伴う腎血管筋脂肪腫 診療ガ

イドライン 2023 年版を作成し、メディカルレビュー社から発刊した。

D. 考察

本ガイドラインの発刊を日本泌尿器科学会および日本結節性硬化症学会ホームページに掲載し、結節性硬化症診療に携わる全ての医療従事者に周知する。さらに本ガイドラインが広く一般的に使われるものになるよう啓発活動を行っていく。

E. 結論

結節性硬化症に伴う腎血管筋脂肪腫 診療ガイドライン 2023 年版を作成し、発刊した。本ガイドラインの普及により、TSC-AML に対する診療レベルの均霑化が期待できる。

F. 健康危険情報

該当なし

G. 研究発表

1. 論文発表

Osawa T, Mizuguchi M, Hatano T et al. Clinical Practice Guidelines for tuberous sclerosis complex - associated renal angiomyolipoma. Int J Urol. 45: 1322-1333, 2023.

2. 学会発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし